令和4年度　学　校　評　価　【 計　画　書 ・ 報　告　書 】　加賀市立　庄 小学校 校長 金津 美紀　印

学校教育ビジョン
教育目標　「かしこく　やさしく　たくましく」
「行きたくてたまらない　行かせたい　行ってみたい学校」
＜よく考える子＞　＜自分も人も大切にする子＞　＜自分に負けない子＞

| 評価の項目 | 今年度の重点目標 | 具体的取組 | 主担当 | 現状及び取組状況 | 評価の観点 | 実現状況の達成度判断基準 | 備考 | 判定結果（中間） | 判定結果（最終） | 今後の改善策 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①教育課程・学習指導 | ・国語科において主体的に取り組む児童を育てる。 | 国語科読むこと領域で、つけたい力が身につく授業改善に取り組む。 | 教務<br>学力づくり部 | ・主体的に問題から大切なことを読み取り、自分の考えを伝えたり書いたりすることを苦手と感じている児童が多い。 | 【成果指標】<br>・国語学期末「読む」テストで80点以上とることができる。 | 国語学期末「読む」テストで80点以上とることができた児童の割合が<br>A：80%以上　B：70%以上<br>C：60%以上　D：60%未満 | 国語学期末「読む」テスト | | | |
| ②生徒指導<br>※いじめの未然防止 | ・児童の自己肯定感を高める。 | ・友達の良い所見つけやハッピーレターなどの取組をさらに進め共感的人間関係を育み、自己肯定感を高める。 | 心づくり部 | ・友だちのよいところ見つけや、ハッピーレターなどの取り組みで，児童の自己肯定感が向上してきたが，依然として低い児童がいる。 | 【成果指標】<br>・自分のよさに気付くことができる。 | 自分には良いところがあると答えた児童の割合が<br>A：95%以上　B：90%以上<br>C：85%以上　D：80%未満 | 児童アンケート（学期末） | | | |
| | ・自分も人も大切にする子を育てる。 | ・縦割り活動や異学年交流を通して、互いを思いやる気持ちを育てる。 | 心づくり部 | ・思いやりの気持ちは育ってきているが、自分から考えて行動する児童が少ない。 | 【努力目標】<br>・周りの人に自分から親切にしたり、やさしくしたりする。 | 周りの人に親切にしたり、優しくしたりしていると答えた児童の割合が<br>A:90%以上　B:80%以上<br>C:70%以上　D：70%未満 | 児童アンケート（学期末） | | | |
| ③進路指導・キャリア教育 | ・キャリア教育の4つの柱の中の「自己理解・自己管理能力」を高める。 | ・好きでないことや苦手なことでも,自分に負けずに取り組む。 | 心づくり部 | ・与えられたことには素直に取り組む児童が多いが，自分で目標を持って，いろいろなことに取り組もうとする意欲が低い。 | 【満足度指標】<br>・キャリア教育で育てたい力：自己理解・自己管理能力（学年の重点項目）を意識してキャリアパスポートを活用して指導にあたる。 | 好きでないことや苦手なことでも,自分に負けずに取り組むことができたと答える児童の割合が<br>A：90%以上　B：80%以上<br>C：70%以上　D：70%未満 | 児童アンケート（学期末） | | | |
| ④保健管理 | ・児童の体力を向上させる。 | ・体育の学習の最初に走る運動を取り入れる。帯タイムに走ろう運動に取り組む。 | 体づくり部 | ・走ろう運動やスポチャレを行い体力の向上を図っているが、体力合計点が低い児童が増えている。 | （成果指標）<br>・シャトルランの記録を測り、記録を更新することができる。 | シャトルランの記録を更新することができた児童の割合が、<br>A：90%以上　B：85%以上<br>C：80%以上　D：80%未満 | シャトルラン記録（学期末） | | | |
| | ・基本的な生活習慣を身につける。 | 睡眠とメディアを関連付けて睡眠の質を上げる取り組みを実施する。<br>・生活習慣チェックに取り組む。 | 体づくり部 | ・早寝早起きの取り組みを行い、十分な睡眠時間を取れている児童は増えたが、メディアの影響で生活リズムが乱れている児童が一定数いる。 | 【成果指標】<br>・就寝30分前にはメディアの使用を止めることができる。 | 就寝30分前にはメディアの使用を止めることができる児童が<br>A：80%以上　B：70%以上<br>C：60%以上　D：60%未満 | 児童アンケート（学期末） | | | |
| ⑤安全管理 | ・各種の訓練を通して，児童の危機対応力と教職員の危機管理能力を高める。 | ・危機管理マニュアルに沿った方法で訓練や研修を実施し，児童の危機対応力と教職員の危機管理能力が高まるように努める。 | 教頭・<br>各担当 | ・火災・地震，不審者対応の避難訓練を実施しているが，教職員の危機意識維持・向上には不断の取組が必要となる。 | 【成果指標】<br>・緊急時の対応マニュアルに従って，教職員や児童が適切で安全な避難行動ができる。 | 避難訓練時に，教職員・児童が適切に行動できたと感じた教職員・児童の割合が<br>A　100%　B　90%以上<br>C　80%以上　D　80%未満 | 児童アンケート（避難訓練後）教職員アンケート（学期末） | | | |
| ⑥特別支援教育 | ・支援の必要な児童に適切な対応を図る。 | ・各担任から児童の様子を聞き，計画的に，また必要に応じて校内支援委員会を実施する。<br>・専門相談員やスクールカウンセラーを活用しながら、支援方法を検討し，全職員で共通理解のもと，指導に生かす。 | 心づくり部 | ・校内支援委員会や児童理解の会で困り感を持つ児童の情報共有をしてきた。支援の必要な児童に適切な支援体制について見直し、よりよい支援体制にしていく必要がある。 | 【努力目標】<br>・校内支援委員会で検討し、組織立って適切な指導を行う。 | 支援を要する児童に適切な指導をしている割合が<br>A：90%　B：80%以上<br>C：70%以上　D：70%未満 | 教職員アンケート（学期末） | | | |
| ⑦組織運営・業務改善 | ・教職員の業務内容や役割の適正化等により，業務改善を図る。 | ・運営委員会や部会を開催し積極的に学校運営に関わる取組を進める。 | 教頭<br>教務 | ・定期的に運営委員会や部会を開催しているが、現状維持にとどまっている。 | 【努力指標】<br>・学校運営への参画の意識を高め、実行可能な取組を進める。 | 学校運営に積極的に参画していると答えた教職員の割合が<br>A　100%　B　90%以上<br>C　80%以上　D　80%未満 | 教職員アンケート（学期末） | | | |
| ⑧研修 | ・校内研修を充実し、授業改善を図る。 | ・校内研修サポート等を活用し、計画的に授業研究を行う。<br>・授業改善のためのOJTが日常的に行われるような環境を整える。 | 教務<br>学力づくり部 | 授業研究や授業スタイルの提案によって授業改善に向けて共通理解はできてきた。より児童につけたい力がつく授業改善を行っていく必要がある。 | 【成果指標】<br>・研修やOJTをもとに授業改善ができる。 | 研修や日常的なOJTをもとに前学期より授業改善ができたと答えた教職員の割合が<br>A：80%以上　B：60%以上<br>C：40%以上　D：40%未満 | 研究の概要<br>毎月チェックシート<br>（学期末） | | | |
| ⑨保護者，地域との連携 | ・教育活動の発信に努め，保護者や地域と連携し，開かれた学校づくりを目指す。 | ・教育活動の情報発信を積極的に進めるとともに，保護者・地域と連携した教育活動を推進する。 | 教頭<br>各担当 | ・学校便りやHPなどで，学校の様子を家庭や地域に発信している。様々な教科・行事で地域の人材を生かしているが，年間の見通しをもって取り組む必要がある。 | 【努力指標】<br>・教育活動の発信に努め，保護者や地域と連携した学習活動を行う。 | 教育活動の発信と保護者や地域と連携した学習活動が積極的に行えていると答えた教職員の割合が<br>A　90%以上　B　80%以上<br>C　70%以上　D　70%未満 | 教職員アンケート（学期末） | | | |
| ⑩教育環境整備 | ・教育環境の整備に努める | ・計画的に，校舎内外の整備に努める。 | 総務部 | ・目的に応じたよりよい教育環境整備を目指す必要がある。 | 【満足度指標】<br>・目的に応じた教育環境整備に取り組んでいる。 | 教育環境の整備に積極的に取り組んでいると答えた教職員の割合が<br>A：100%　B：90%以上<br>C：80%以上　D：80%未満 | 教職員アンケート（学期末） | | | |
| 学校関係者評価 | | | | | | | | | | |